

事業者向

児童発達支援自己評価表(公表)

討議年月日:令和 6年 3月 1日

公表:令和 6年 3月 20日

		チェック項目	はい	いいえ	無記入	工夫している点、課題や改善すべき点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数に対しての部屋の広さは適切である ・個々に合った活動スペースの確保が出来ている ・極力物を置かない、必要ない情報は隠している 	<ul style="list-style-type: none"> ・指導訓練室(各クラス)は基準上では2.47㎡必要など、実質一人あたり3.6～4.2㎡となっており基準は十分満たしている。 また、遊戯室は一人あたり1.65㎡必要基準に対し、実質2.5㎡×定員20名=50㎡の広さを確保している
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用人数に対しての基準は十分満たしているが、職員の病欠等があると実際の支援には不足気味と感じる事もある。 ・多くても少なくても、それぞれに子どもたちの姿や変化に気付けることがある 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童4名あたり職員1名が必要基準となっており、十分満たした人数で療育を行っているが、職員の出勤、児童の出席状況により職員数の増減は生じている。適切な配置数の中で職員の役割を決め、適度な距離感で児童と関わることが出来るようにしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・施設内は入り口前に階段があるが、その他はバリアフリーとなっている。 ・集団の環境で全員が分かりやすい設定とはならなかった面もあるが、個々のねらいに合わせ構造化された環境の中でグループ活動を取り入れた。 	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・活動に合わせた環境設定が出来ていて、安心して過ごせる空間が確保できている ・光の入りを防ぐ、空調の調整、換気を行っている ・活動の空間、自由遊びの空間など、分かりやすく部屋を分けている ・日々の感染症の予防、拡大防止のため適切な液剤を使用して消毒・掃除を行っている。 	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善の理解を進めるため毎月実践を通じた研修を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度より事業計画の中でPDCAサイクルに参画する仕組みをつくっていく
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に評価表を実施し、その結果を次の療育へ繋げている ・よりよい支援、サービス提供につながる為、参考にしている 	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に法人ホームページで公開している ・年度末に評価表を実施し、その結果を次の療育へ繋げている 	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、第三者の外部評価は実施なし 監査・実地指導は行われている 	<ul style="list-style-type: none"> ・数年かけて事業計画の中で外部評価の実施を計画している。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に研修が行われている。また、研修の告知も掲示板等で行われている ・内部、外部の研修に時間内で参加できるよう勤務で調整をしている ・受けたい研修の希望を聞いてくれる機会もある 	

適切な支援の提供

10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・年3回、懇談を行い支援計画の評価、次の目標を決め支援計画を作成している ・親子療育があること、日々の連絡帳のやりとり等で、保護者のニーズを捉えやすい環境があると感じている ・計画、評価の説明だけでなく日々の様子など具体的に児童の事が知れるよう伝えている ・個に合わせて作成している 	
11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・年に一度、太田ステージにより発達段階の検査を実施。個々のステージに応じた課題の提供・関わりを行っている 	
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・個に合わせて適切で具体的な児童発達支援計画を作成している。 ・領域に分かれていて生活・認知・社会性等、それぞれの視点からアセスメントしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドラインの共通理解のため職員研修に盛り込んだことで、自分達が今やっていることの意味理解につながり、具体的にすべき事が明確化された。毎年新しい職員が増えるので継続していきたい
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・月案に沿って、個々に合わせた支援を行っている 	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・月案、療育内容をクラスごとで担任が話し合い、立案している 	
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・太田ステージ等、もとになる活動プログラムがあり、固定化せず行われている ・児童、保護者からのニーズに合わせて必要なプログラムを提供している ・領域ごとにバランスよく活動ができるようにしている ・クラスの児童の状況や、様子によって変化している ・児童の特性に沿った活動を立案している 	
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・集団と個別活動それぞれの時間を一日のスケジュールの中に設けている ・活動により、個別・集団で活動を提供し、それぞれ評価している 	
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・前日に次の日にする活動について話し合い、提供の仕方を検討している ・開始前、活動前、場面により臨機応変に行っている ・心がけているが時間がとれない時もあり、その時々で気付いた時に伝え合う形になってしまうこともある 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度について今出来ている部分は継続していきながら、業務内容や打ち合わせ・振り返りの時間を改めて設定し、定期的な見直しができるようにしていきたい。 また、担任だけではなく補助担任も一緒にクラス会議に参加できるよう会議開催日時の調整・設定を行う
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	1		<ul style="list-style-type: none"> ・日々振り返りを行い、児の様子や支援方法について話合っている。 ・毎日は難しい事もあったが、気付きや困った事があれば、必ず共有できている ・クラスにより支援終了後でのバラつきは見られる 	
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・連絡帳に記載し保護者と常に共有できるようにしている ・毎日保護者とやりとりする連絡帳とは別に、1週間の活動状況を詳しく記録したノートを週1回保護者と共有している。 	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じ見直しの時期を判断しながら、基本的に年3回実施している 	
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が中心となりながら、必要に応じて担任が参加し、児童の日々の状況を会議の場で説明する機会もある 	

関係機関や保護者との連携

22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8			・市の保健師や相談員など関係機関と情報共有・連携しながら支援を行っている	
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5		3	・PT、OTなど訓練の見学や研修会に参加 ・入園前に関係機関との情報共有を実施している	・今後も支援に対応していくために、必要な研修への参加や関係機関との連携を図っていく
24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	6		2	・入園前に対応の仕方等、医療機関と連携を行っている	
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			・園が求めている情報と提供する情報が合致しているのか疑問を感じる ・担当の職員が行っている ・年度末に就学する児に対しての情報を共有する場を設けている	・保育所等訪問や療育中の見学受け入れ、移行先の見学などを通し、関係者と必要な情報が相互に得られるよう努めていく。
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			・システム化はされていないと感じる。希望・必要ある方を選別されているのか？何をもって情報共有とされているのか。 ・単独通園クラスの児については共通支援シートの作成を行っている	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	8			・研修や報告書により、情報共有を行っている ・学期に1回程度、市内の通所事業所の代表者が集まる会議の場を設け、近況報告や課題の共有を行っている。自立支援協議会で報告もしている	
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		8		・コロナ禍、インフルエンザ流行などで難しかった ・交流する機会はない。	・今年度も感染症の影響で実施はできていないが、児童の経験の幅を広げる機会づくりを検討していく
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	2	1	・管理者が参加している	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・連絡帳を通して伝えているが一方的になっている事も感じる ・送迎時や連絡帳、記録ファイルにて共通理解ができるようにしている	・連絡帳、登降園時では伝えきれない場合は、電話でのやりとりなどオンラインも活用しながら共通理解が得られるよう努めている
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8			・親子療育を通して支援方法を知らせている。 ・日々の関わりから、必要な支援を上司につなげたり、児発管につなげたりという体制がしっかりとあると感じている。 ・必要ある方に対し働きかけを行っている ・学習会を定期的に設けている	・次年度は平日に行う親子療育の行事以外に、土曜療育日も利用して定期的な家族支援の機会が持てるよう計画している。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・契約時に行っている	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8			・土曜日の午後にガイドラインの理解を進める職員研修を行った。 ・懇談時に説明し、同意を得た上で行っている	・児童発達支援ガイドラインの研修を行えたことで、日々の支援とガイドラインの結びつきが明確に出来たと感じる

保護者への説明責任等

34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・日々の送迎時や連絡帳などで行う中で、必要に応じ上司に相談し、適任者が相談の対応を行っている ・職員間、上司等と相談しながら全体的に行っていると思う ・頻度としては多いのか少ないのか分からない(W1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・並行通園は週1回の利用となっており保護者と直接顔を合わせてやりとりできる頻度は単独通園と比べると少ないが、必要に応じて電話連絡等でも相談対応に努めている
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者カフェの開催を行っている ・にわとり(卒園保護者)・ひよこ(在園保護者)のカフェを通して保護者同士で悩み等共有し合える場の提供。職員代表者がテーマを決めて進めていく場合もある(就学相談など) ・単独通園の保護者のみで並行通園の保護者に対しては出来ていない、必要と感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでは単独通園の保護者のみのカフェであったが、次年度は並行通園の保護者にも土曜療育日等を通し、保護者同士でのつながりが持てる機会づくりを検討していく
36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・担任間で共有し、上司に報告している ・日頃から時や保護者の様子について情報共有を行い児発管に繋げていく 	
37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・ブログ、ママ連、会報誌。ママ連は特に迅速な伝達につながっていると感じる ・月案を配布している 	
38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・当たり前の事として留意し、日々業務にあたっている ・個人情報にあたるものは必ずシュレッダーをしている ・持ち帰らないように留意している 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の規定(マニュアル)を共有している。
39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・視覚支援を行っている ・特性に応じた支援方法を行っている 	
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2	6		<ul style="list-style-type: none"> ・HPなどで情報の発信は行っている ・地域行事などは実施されていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・行事の招待は出来ていないが、見学やボランティアについては対策をしながら実施をしている。次年度は市とも連携しながら地域に向けての取り組みを検討していきたい
41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・想定イメージできるよう時期に合わせ情報交換をし共有・周知している ・フローチャートが作成されている ・毎月避難訓練を行っている。衛生管理、環境整備等の委員会から全体へ周知している 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全計画を策定し、マニュアルの整備に取り組んでいる。
42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月訓練を実施している ・振り返りがあること、その情報を共有できていることが大きい ・避難だけでなくその先の状況も各自イメージできるようシミュレーションしている 	
43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報をチェックし、共有・周知している。てんかんについてのフローチャートを作成している ・入園前に保護者から状況を聞き取りし、職員間で周知している 	<ul style="list-style-type: none"> ・R6～策定する安全計画を徹底し、定期的な振り返り・見直しを行いながら遂行していく
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・医師からの診断書を提出してもらい、周知している ・除去してもらい、代替食を持参してもらい対応している ・おやつはアレルギー表記に十分留意して購入。行事等の特別なおやつに関しては、事前に保護者にパッケージのアレルギー表記を確認して頂いてから購入・提供も行っている。 	

非常時等の対応

45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・フローチャートを作成し、次のステップの為に考える機会を設けている ・掲示して共有している 	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・委員会の担当者を中心に、話し合いを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所内で月に一度、法人全体でも年に一度、研修を実施している
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	2		<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束を行う対象児はいないため、支援計画に反映していない。その日の起こった対応方法は即日に保護者に説明している ・行動規範の読み合わせを行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで身体拘束について支援計画に記載が必要な機会は無かったが、組織で定められた指針を共通認識できるよう定期的に研修を行っていく